

第5回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：昭和電工大分県立武道スポーツセンター 受賞者：株式会社石本建築事務所

【受賞理由】

建築・まちづくりの観点から自然の調和に優れているものであり、以下の点が特に評価された。

- 多目的競技場、武道場の大屋根架構は、大分県内の製材所で製材される杉の一般製材のみを使用している。その他、エントランスホールの壁と天井には別府竹細工を、家具についても地元産の材料を用いるなど、地元産の製材を適材適所にあわせて余すところなく使用している点がSDGsに優れている。
- 大規模大会も開催可能な屋内スポーツの拠点とすること、県民の誰もが気軽に利用できる施設であること、トップリーグ公式戦や代表の合宿開催によるスポーツ環境の拠点となること、大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設であることの4つの基本理念に基づいた施設づくりがなされている。
- 自然換気システムを採用するなど、自然エネルギーを有効利用し、光熱水費の削減を図っている。また、高効率機器や長寿命材料を採用することでライフサイクルコストの削減を図っている。



<概要>

施設概要：多目的競技場、武道場

敷地面積：1,243.403 m² 施設面積：16,125.56 m² 竣工年月日：2019年4月

評価実績等：(一社)日本建築業連合会「BCS賞」他多方面から評価